

MUGC/フィデリティ・トラストー

フィデリティ・北米経済圏・ 新成長株式ファンド

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託/追加型

米ドル建 米ドルヘッジクラス受益証券
円建 円ヘッジクラス受益証券
円建 為替ヘッジなしクラス受益証券

償還交付運用報告書

作成対象期間 第11期

(2023年6月1日~2023年7月31日)

その他記載事項

償還運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの償還運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券
株式会社**

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

MUGC/フィデリティ・トラストー フィデリティ・北米経済圏・新成長株式ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、2023年7月31日に償還されました。

ファンドは、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指しました。カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともありました。最終計算期間である第11期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、第11期の運用状況をご報告申し上げます。ご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

第11期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.011176米ドル	13,613,198.34米ドル
円建 円ヘッジクラス	1.0585円	35,421,990円
円建 為替ヘッジなしクラス	1.3343円	736,409,953円
第11期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	4.99%	0.000432米ドル
円建 円ヘッジクラス	4.05%	0.0226円
円建 為替ヘッジなしクラス	8.02%	0.1309円

(注1) 1口当たり純資産価格および純資産価額は、財務書類における数値を記載しており、取引日(評価日)付で公表されている1口当たり純資産価格および純資産価額の数値と一致しない場合があります。以下同じです。

(注2) 騰落率は、公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出された評価日付の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

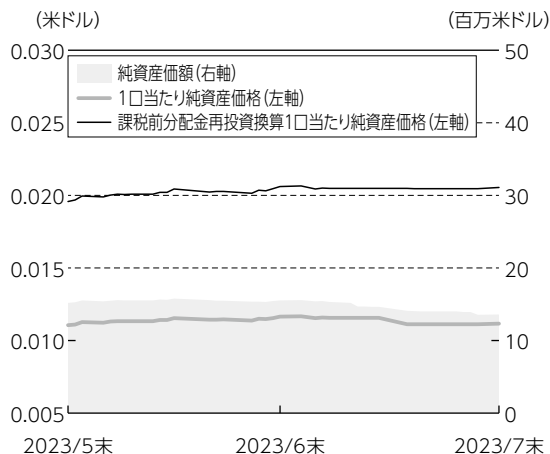
(注3) 1口当たり分配金の金額は、税引前の金額を記載しています。以下同じです。

(注4) 1口当たり償還金は小数第7位まで算出されているため、第11期末現在の1口当たり純資産価格と異なります。各クラスの1口当たり償還金は7頁の「お知らせ」をご参照ください。

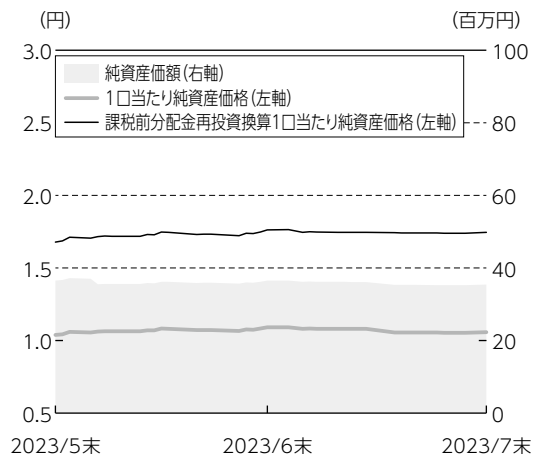
《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

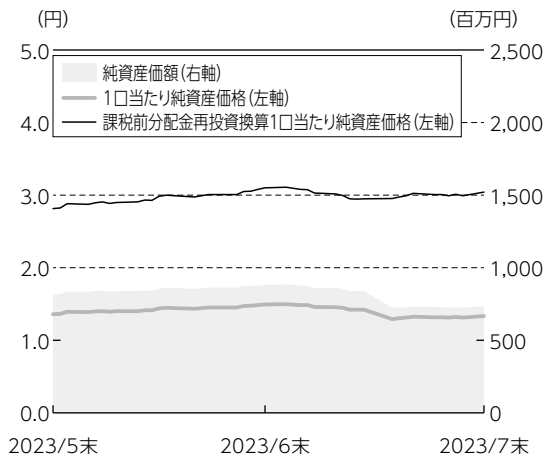
米ドル建 米ドルヘッジクラス



円建 円ヘッジクラス



円建 為替ヘッジなしクラス



(注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、各クラスの公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、運用開始日(2013年7月12日)の受益証券1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されておりません。

	第10期末の 1口当たり純資産価格:	第11期末の 1口当たり純資産価格:	第11期中の1口当たり 分配金合計額:	騰落率:
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.0111057米ドル	0.011176米ドル	0.000432米ドル	4.99%
円建 円ヘッジクラス	1.0391円	1.0585円	0.0226円	4.05%
円建 為替ヘッジなしクラス	1.3601円	1.3343円	0.1309円	8.02%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期中、ファンドの1口当たり純資産価格の変動に影響を与えた主な要因は次のとおりです。

(プラス要因) 資本財、ヘルスケアの各セクターにおいて保有していた銘柄の値上がり等

(マイナス要因) 通信サービス、不動産の各セクターにおいて保有していた銘柄の値下がり等

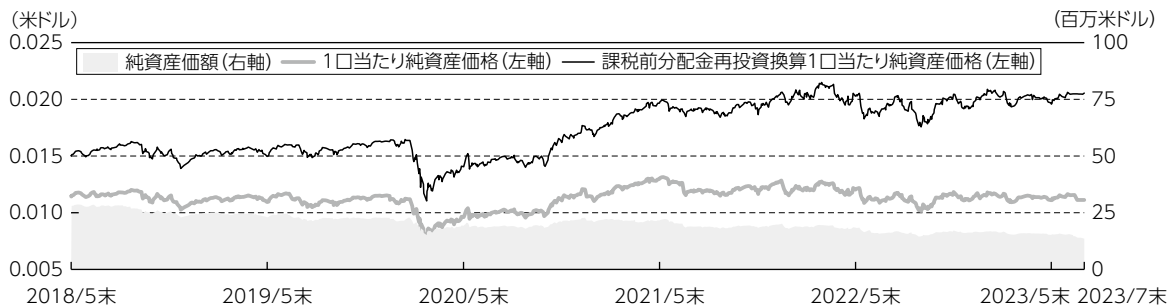
費用の明細

項 目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	純資産価額の年率0.12% (四半期毎に後払い)	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。 保管報酬は、保管契約に基づく保管業務の対価として、保管会社に支払われます。 管理事務代行報酬は、管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務の対価として、管理事務代行会社に支払われます。
受託報酬	純資産価額の年率0.01% (四半期毎に後払い) (最低年間10,000米ドル)	受託報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
投資運用報酬	純資産価額の年率0.80% (四半期毎に後払い)	投資運用報酬は、投資運用契約に基づく投資運用業務の対価として、投資運用会社に支払われます。
販売報酬	純資産価額の年率0.67% (四半期毎に後払い)	販売報酬は、投資者からの申込または買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、販売会社に支払われます。
代行協会会員報酬	純資産価額の年率0.10% (四半期毎に後払い)	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会会員に支払われます。
その他の費用(当期)	0.79%	ファンドの設立、運営、管理および維持に関する一切の費用(仲介手数料、弁護士報酬、監査報酬等を含みますがこれらに限定されません。)として支払われます。

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

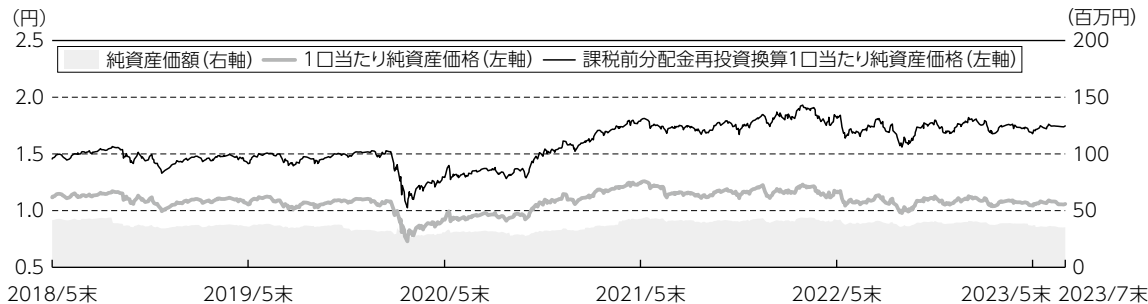
米ドル建 米ドルヘッジクラス



	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日	第9期末 2022年5月末日	第10期末 2023年5月末日	第11期末 2023年7月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.011429	0.010941	0.009612	0.012975	0.012045	0.011057	0.011176
1口当たり分配金額 (米ドル)	0.000882	0.000481	0.000759	0.000406	0.001299	0.000562	0.000432
騰落率 (%)	-	-0.20	-6.08	39.81	3.19	-3.50	4.99
純資産価額 (米ドル)	27,863,356.81	23,031,145.01	19,265,590.27	21,665,305.81	18,429,601.75	15,208,973.65	13,613,198.34

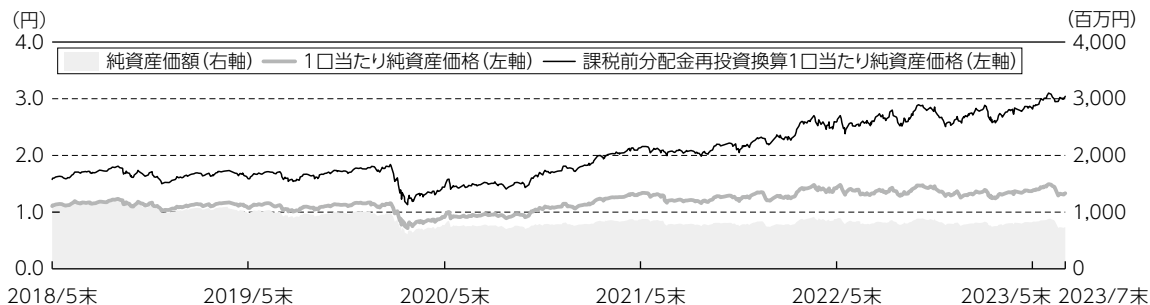
(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

円建 円ヘッジクラス



	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日	第9期末 2022年5月末日	第10期末 2023年5月末日	第11期末 2023年7月末日
1口当たり純資産価格 (円)	1.1150	1.0546	0.9188	1.2428	1.1613	1.0391	1.0585
1口当たり分配金額 (円)	0.0775	0.0322	0.0526	0.0256	0.1013	0.0314	0.0226
騰落率 (%)	-	-2.67	-8.60	38.42	1.81	-7.88	4.05
純資産価額 (円)	41,493,347	35,909,521	30,905,435	42,819,976	41,706,340	36,509,441	35,421,990

円建 為替ヘッジなしクラス



	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日	第9期末 2022年5月末日	第10期末 2023年5月末日	第11期末 2023年7月末日
1口当たり純資産価格 (円)	1.1009	1.0732	0.9143	1.3269	1.4194	1.3601	1.3343
1口当たり分配金額 (円)	0.0887	0.0423	0.0727	0.0243	0.1572	0.1687	0.1309
騰落率 (%)	-	1.13	-9.22	48.33	21.07	8.79	8.02
純資産価額 (円)	1,103,795,345	977,859,354	772,159,599	870,249,028	878,445,988	816,715,538	736,409,953

投資環境について

●市場概況

北米株式相場は、6月に上昇しました。株式市場は、6月初めに米上院が債務上限引き上げ法案を承認したことでデフォルトを回避し、債務上限を2年間にわたり引き上げることとなったことなど、多くの要因で下支えされました。消費者物価指数(CPI)のインフレ率がコンセンサス予想とほぼ同じ年率4%となり、2年以上ぶりの低水準まで鈍化したことも市場に好感されました。連邦準備制度理事会(FRB)は6月の政策決定会で、2022年3月以来初めて利上げサイクルを停止しましたが、誘導目標は5.00%から5.25%に据え置きました。パウエルFRB議長は、「インフレ圧力は引き続き高く、インフレ率を2%まで低下させるプロセスは長い道のりだ」と述べました。セクター別で見ると、一般消費財、素材および資本財が最も好調でした。一方、公益事業、通信サービスおよび生活必需品が最も下落しました。スタイル別では、グロースとモメンタム銘柄がバリュー銘柄を上回りました。また、中小型株が大型株を上回りました。

マクロ経済の観点からは、第1四半期の米国の実質GDP成長率は、個人消費と輸出の改善を反映して当初の年率1.3%から2.0%に上方修正されました。米国の失業率は4月の3.4%から5月には3.7%に急上昇しました。この値は、2022年10月以来の高水準で、市場予想の3.5%を上回りました。5月の米個人消費支出(PCE)価格指数は前月比3.2%と、4月の3.8%から低下しました。S&Pグローバル米国製造業購買担当者景気指数(PMI)は低下が続き、6月は46.3と、5月の48.4から低下しました。生産量と雇用者数の減少が低下の要因となりました。

ポートフォリオについて

●運用結果

当期中、ファンドのパフォーマンスは参考指標をわずかに下回りました。一般消費財および情報技術のアンダーウェイトがアンダーパフォームの要因となりました。エネルギー、資本財およびヘルスケアの銘柄が相対リターンに寄与しました。ポートフォリオは7月3日に全売却されました。

個別銘柄では、IT企業Salesforceの保有がリターンの重石になりました。同社の株価は、コンセンサス予想と一致する業績を発表したにもかかわらず、6月に下落しました。前年同期比で増収・増益を達成しましたが、通期の売上高見通しは維持し、利益率とフリー・キャッシュ・フローの見通しを引き上げました。ディスカウントストアのBJ's Wholesale Clubは、5月下旬に発表の四半期決算がまちまちであったことから株価は下落しました。売上高と既存店売上高が予想に届かなかったものの、コンセンサス予想に沿った収益となり、一方プラス面としては、EBITDAおよびフリー・キャッシュ・フローがコンセンサス予想を上回りました。TeslaとAppleの非保有が相対リターンのマイナス要因になりました。電気自動車メーカーTeslaが予想を上回る納入台数を発表したことや、Appleは初の複合メディアヘッドセットを市場に投入すると発表したことで株価は上昇し、時価総額は3兆米ドルを超えました。

ヘルスケア企業であるAmerisourceBergenおよびMcKessonの株価も上昇しました。AmerisourceBergenは、通期および第2四半期の好決算を受けて上昇しました。米製薬会社である同社は、特殊薬の成長とCOVID-19関連治療薬の販売に牽引され、売上高が前年同期比10%増、調整後1株当たり純利益(EPS)が8.7%増となったことを明らかにしました。油田サービス会社Baker Hughesと石油掘削技術会社ChampionXは、国際的な油田サービスに関する前向きな一連のニュースの恩恵を受けて、6月に上昇しました。液化天然ガス(LNG)事業向けサービスの90%を供給するBaker Hughesの株価は、LNG開発者NextDecadeがリオグランデLNGプロジェクトの進展に必要な資金と商業的支援を確保したと発表したことで上昇しました。

分配金について

当期(2023年6月1日~2023年7月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル建 米ドルヘッジクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2023/7/18	0.011135	0.000432 (3.73%)	0.000202

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2023年7月18日の直前の分配落日(2023年1月17日)における1口当たり純資産価格は、0.011365米ドルでした。

(注4)「分配落日」には、分配方針に基づき当該日における分配が可能であったが実際には分配金が支払われなかった日を含みます。以下同じです。

円建 円ヘッジクラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2023/7/18	1.0564	0.0226 (2.09%)	-0.0095

(注)2023年7月18日の直前の分配落日(2023年1月17日)における1口当たり純資産価格は、1.0885円でした。

円建 為替ヘッジなしクラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2023/7/18	1.2946	0.1309 (9.18%)	0.1688

(注)2023年7月18日の直前の分配落日(2023年1月17日)における1口当たり純資産価格は、1.2567円でした。

《今後の運用方針》

該当事項はありません。

《お知らせ》

ファンドは、設定時からの予定通り、2023年7月31日に終了しました。償還金は、日本における販売会社を通じて2023年8月9日に受益者のみなさまにお支払いしました。

各クラスの1口当たり償還金は、以下のとおりです。

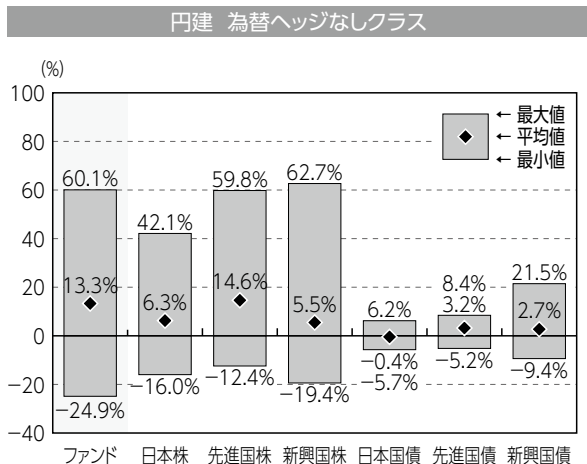
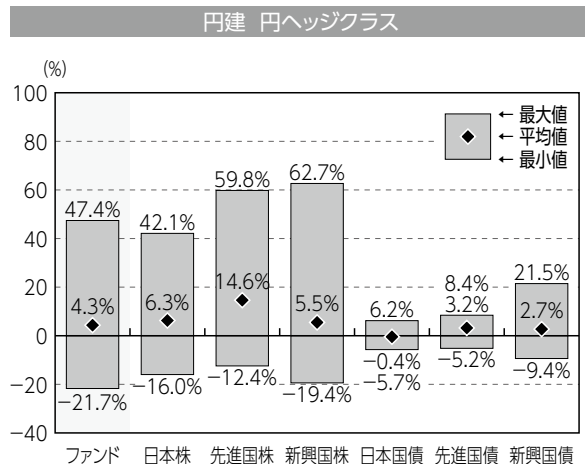
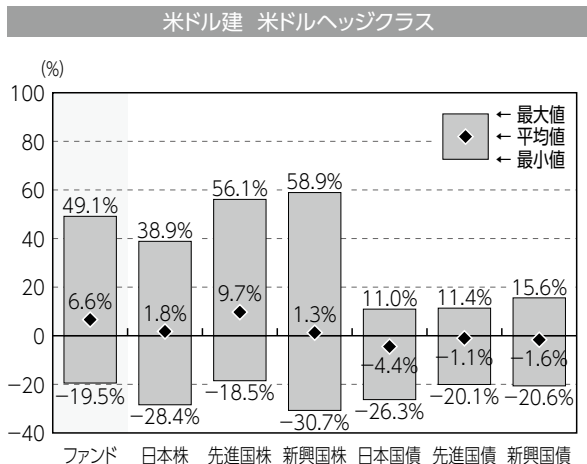
米ドル建 米ドルヘッジクラス受益証券	0.0111761米ドル
円建 円ヘッジクラス受益証券	1.0585366円
円建 為替ヘッジなしクラス受益証券	1.3343162円

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型
信託期間	ファンドは、2013年7月12日から運用を開始し、2023年7月31日に終了しました。
運用方針	ファンドは、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指しました。 カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともありました。
主要投資対象	アメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式
ファンドの運用方法	主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式に投資を行い、長期的な元本の成長を目指しました。 カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともありました。 個別企業分析にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行いました。 「米ドル建 米ドルヘッジクラス」「円建 円ヘッジクラス」「円建 為替ヘッジなしクラス」の3つのクラスから構成されていました。 投資する資産について、「米ドル建 米ドルヘッジクラス」は対米ドルで、「円建 円ヘッジクラス」は対円で、それぞれ為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。 「円建 為替ヘッジなしクラス」は、為替ヘッジを行いませんでした。
分配方針	管理会社は、いずれのクラスに関しても、投資運用会社と協議の上、毎年1月15日および7月15日(当該日が営業日でない場合には翌営業日)に、純投資収益、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができました。

(参考情報)

● ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業が作成

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※2018年8月から2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフはファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

米ドル建 米ドルヘッジクラス

日 本 株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

円建 円ヘッジクラスおよび円建 為替ヘッジなしクラス

日 本 株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

《ファンドデータ》

ファンドの組入資産の内容

当期末現在、有価証券等の組入れはありません。

純資産等

第11期末			
クラス名	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジクラス	13,613,198.34米ドル	1,218,059,038口	0.011176米ドル
円建 円ヘッジクラス	35,421,990円	33,463,171口	1.0585円
円建 為替ヘッジなしクラス	736,409,953円	551,900,615口	1.3343円

(単位:口)

第11期中			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジクラス	439,689 (439,689)	157,888,886 (157,888,886)	1,218,059,038 (1,218,059,038)
円建 円ヘッジクラス	0 (0)	1,673,958 (1,673,958)	33,463,171 (33,463,171)
円建 為替ヘッジなしクラス	3,688,577 (3,688,577)	52,289,560 (52,289,560)	551,900,615 (551,900,615)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。